

◇あとがき◇

いつもの「あとがき」は、前半で季節の挨拶や時事ネタに触れますが、今回は最初からこの企画と私との関係を述べたいと思います。私は、医師になってすぐから消化器内視鏡に興味を持ち、小児外科の研修と並行して、小児・成人を問わず消化器内視鏡の研修を行いました。外勤先では、人間ドックで成人の上部消化管内視鏡の経験を積み重ねました。当時、私の内視鏡の師匠であった故林田康男先生とともに、現在の経鼻内視鏡のもととなる Olympus GIF N-30 や、新生児・乳児の ERCP 用側視鏡 Olympus X-PJF の開発にも携わりました。現在も自施設および外勤先で小児と成人の消化器内視鏡を続けており、私のライフワークのひとつとなっています。

また、私は日本小児内視鏡研究会の副代表世話人も務めています。この研究会は、第1回の研究会が1974年に開催され、50年以上の歴史のある研究会で、私も2016年に第43回会長を拝命致しました。この研究会は、小児外科医、小児科医、成人領域で小児の消化器内視鏡にも関わる消化器内科・外科医で構成されています。私がこの研究会に初めて参加したのは、1991年に開催された第18回の研究会だったと記憶しておりますが、その当時は会員のほとんどが小児外科医と成人領域の消化器内科・外科医でした。当時、小児科医が消化器内視鏡を行うことはまれで、小児の内視鏡検査や治療は、成人の消化器内科・外科医が行っていた施設がほとんどでしたが、最近では消化器内視鏡を行う小児科医が増え、研究会での発表も小児科医からの演題が多くなってきました。

今回の『小児消化器内視鏡診断・治療』という特集号は、近年の日本小児内視鏡研究会で発表された演題のなかから、小児外科医が関与する疾患を選んで構成しましたが、執筆者は小児外科医、小児科医、成人領域の消化器内科医と多岐に渡っています。消化器内視鏡診断・治療は、小児領域でも非常に重要な低侵襲医療であり、成人領域同様、小児領域においても今後は適応疾患が増えるのではないかと考えています。

(世川 修)

本誌
広告
取
扱
い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-9-5
NK 本郷ビル 5 階 TEL 03-3814-8541 (代)
メディカ 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-12-9
アド 第1長谷川ビル2階 TEL 03-5776-1853 (代)
文京メディ 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-24-6
カル 本郷大原ビル6階 TEL 03-3817-8036 (代)

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は、東京医科学社が保有します。
・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物> 本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に一般社団法人出版者著作権管理機構 (TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

「小児外科」第58巻第8号 (2026年8月号)

特集 小児急性腹症の画像診断

胃軸捻転	澁谷知香子
傍十二指腸ヘルニア	吉田 洋
腸間膜裂孔ヘルニア	有 菌 翔子
小腸異物 (食物, 毛髪, 磁石, 吸水性ポリマー など)	宮坂実木子
Meckel 憩室炎	甲 斐 裕 樹
術後癒着性腸閉塞	横 井 暁 子
器質的疾患を伴う腸重積症	原 田 七 海
結腸捻転 (回盲部捻転を含む)	城 崎 浩 司
大腸憩室炎	西 谷 友 里
感染性腸炎と鑑別になる腸炎 (好酸性球性腸炎, IgA 血管炎, ループス腸炎)	中 井 義 知
非穿孔性・穿孔性急性虫垂炎, 膿瘍・腫瘍形成性虫垂炎	岩 出 珠 幾
大網捻転	五 藤 周
胆嚢捻転一異なる臨床経過の自験例2例を 通して一	安 井 良 僚
先天性胆道拡張症における胆道穿孔の画像診断	田 井 中 貴 久
先天性胆道拡張症による急性脾炎	古 賀 寛 之
脾管癒合不全による脾炎	佐 藤 正 人
脾捻転	田 中 彩
卵巣・卵管の捻転と卵巣出血	木 村 拓

名誉編集委員	秋 山 洋	石 原 通 臣	岩 中 督
	大 沼 直 躬	大 谷 俊 樹	土 岐 彰
	長 島 金 二	橋 都 浩 平	山 崎 洋 次
	横 森 欣 司	北 川 博 昭	越 永 従 道
編 集 委 員	金 森 豊	浮 山 越 史	世 川 修
	渡 井 有	古 田 繁 行	池 田 太 郎
	藤 野 明 浩	藤 代 準	菱 木 知 郎

小児外科

第58巻第7号
©2026年7月25日発行
定価3,190円(本体2,900円+税10%)

編集 小児外科編集委員会
発行 株式会社 東京医科学社
〒112-0006 東京都文京区小日向 4-5-16
URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>
編集部 TEL 03-5810-1648 FAX 03-5810-1649
e-mail: shoge@tokyo-igakusha.co.jp
営業部 TEL 03-5810-1628 FAX 03-5810-1629
e-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2026 年 年 間 予 約 購 読 料

- ①2026 年 1 月号～2026 年 12 月号＋増刊号：
定価 49,280 円 (本体 44,800 円＋税 10%)
②2026 年 4 月号～2027 年 3 月号＋増刊号：
定価 49,280 円 (本体 44,800 円＋税 10%)
(小児内科・小児外科 合同増刊号) ※前金予約購入に限り送料無料。